

探訪 チャレンジ企業70

美術品と一夜干しで
非日常の空間を提供
姫丸の一夜干し「姫丸美術館・カフェ」:羽咋市

「当店の絵画、彫刻を楽しみに来店されるお客様には、作品を説明しながらテーブルにご案内します。およそ十分ぐらいです。先日なんかは、お客様が夢中になりすぎてテーブルまで四十五分もかかっちゃいました」と笑いながら話すのは、羽咋市滝町で今年五月に「姫丸美術館・カフェ」をオープンされた東寿郎さんです。

一 再起は祖母の一夜干し

京都府出身の東さんは、学生時代に羽咋市出身の妻と結婚し、卒業後に妻の実家に入りま

した。県内有数の底引き網漁船の船主と従業員五十名を超える織物会社の社長となったものの、平成十五年に繊維不況の影響を受け倒産、漁船を手放すという経験をしました。何も手につかなかった東さんですが、明治時代から残る竹串を使い以前祖母が作っていた一夜干しを思い出し、半年以上の試行錯誤の結果、再現に成功しました。その後少しずつ、通信販売やクチコミなどで販路を広げ現在では、都市圏中心に一七〇人以上の顧客を持つようになりました。



かつての所有船「姫丸」の大漁旗とご主人

二 父母祖母は芸術家

一夜干しの販売が徐々に軌道に乗りはじめた頃、焼きたての一夜干しをその場で食べたいというお客様の要望が多くなり、他に何かお客さまに喜んでもらえることはないかと考えたのが



店内にある芸術作品

美術館というアイデアでした。

この美術館カフェには、京都在住の二科展常務理事の実父小山由寿さんの彫刻と、実母静陽さんと祖母村城東陽さんの日本画、日本芸術院賞受賞の川尻一寛さんの陶器が大小百点以上も所狭しと展示されており、美術好きのお客様にはたまらない空間になっています。その中でもメインの作品は、食事やコーヒーをいただく十二畳の座敷に飾ってある静陽さんの日本海の荒波をイメージした六曲一双の屏風と由寿さんの高さ二メートルを超える現代風のジュラルミン製のミニチュメントです。

三 芸術を堪能しながら食事

この素晴らしい芸術作品を眺めながらゆっくりいただくのが、屋号にもしている「姫丸の一夜干し」です。赤カレイ・

ハタハタ・鉄砲メギスなど地元でとれた新鮮な魚を全て手作業で一夜干しにします。海水と同じ三〇程度程度の塩水に漬けるだけにして、塩分をできるだけ控え旨味を最大限に引き出しています。その一夜干しをさっと焼き、お客様の食事のスピードに合わせて一枚ずつ熱々のまま提供しています。



カレイの一夜干し

四 非日常を提供

欄間や床柱などおよそ五十年前の贅沢な材料がふんだんに使用されている船主古民家も食事と芸術作品を引き立たせる空間として大きく貢献しています。お客様の中には、芸術品と古民家の雰囲気と美味しい食事での非日常体験を求めている方もいるとのこと。

五 能登来訪のきっかけに

いろんなエピソードとアイデアをもつ東さんに今後の思いを聞いたところ、「先日グループで京都から一夜干しを食



店内の様子

べにいらつしゃいました。せっかくだからということも登半島一周旅行もなさったそうです。当店が能登に来てくれるきっかけとなれば本当にうれしいです」と満面の笑みで答えてくれました。

（お問い合わせ）

姫丸の一夜干し

「姫丸美術館・カフェ」

〒九二五-〇〇〇五

羽咋市滝町カ二四六一

TEL 〇七六七-二三三五六

携帯 〇九〇-八二六〇-三三七二

入館無料（作者、コレクション

寄贈者の意向を踏まえ、入館料

はあえて無料にしております。

お昼食事（一夜干し）十食限定

要予約（コーヒーは予約不要）

（取材・執筆：県連合会

経営支援課 澤井 健二

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。